



花名：アネモネ
絵：中村宗和名誉教授

5月の特許相談会

※今月は鳥取地区で2回開催されます。相談をご希望の方は予約をお願いします。

【鳥取地区】

相談員：滝本智之弁理士

(電気・機械関係他)

日時：5月11日(水) 13:30より

場所：鳥取大学産学・地域連携機構2階会議室

【鳥取地区】

相談員：富田憲史弁理士

(医獣・バイオ関係他)

日時：5月12日(木) 13:30より

場所：産学・地域連携機構2階研修室

今後の予定

【6月】滝本弁理士 6/13(月)

富田弁理士 6/15(水)



【目次】

5月の特許相談会	1
企業紹介 シリーズ第14回 一(株)鳥取ビブラコースティック 一	2
「平成22年度大学知財研究推進事業報告書(株)三菱総合研究所実施)に 当部門の活動が取り上げられました。」	3~4

企業紹介 シリーズ第14回 ー鳥取ビブラコースティック(株)ー

TVC 鳥取ビブラコースティック株式会社

【会社概要】

代表者 代表取締役社長 高橋 良明
所在地 〒683-0362
鳥取県西伯郡南部町原 938-2
電話 0859-66-5000 (代)
操業 1990年 5月
資本金 1億円
従業員 260名
製造品目 防振防音ゴム製品の製造
Homepage <http://www.t-vc.jp>



【会社紹介】

秀峰大山の麓、緑豊かな町、鳥取県西伯郡南部町原工業団地に私たち鳥取ビブラコースティック株式会社は、南部町（旧西伯町）の誘致企業として1989年に設立されました。



製品納入先は、国内全ての自動車メーカーを網羅しNOK株式会社（親会社、東証一部上場）で培われた技術力、豊富な経験と実績を背景に高品質防振ゴム装置をお届けしています。

現在約95,000㎡の敷地の上に第1工場から第5工場が操業しており、そこでの年間出荷高は約87億円（2010年度）です。又2005年にISO9001及び2007年にISO14001も認証取得致しました。

福利厚生につきましても、社員食堂等の厚生施設があり、親睦会を中心にしてスポーツ大会・社員旅行（2年に1度）等を実施し、社員同士の交流を深めております。

【製品紹介】

弊社は、NOK(株)の防振・防音ゴム装置の国内生産拠点となっています。なかでも代表的な製品であるトーショナルダンパーは、自動車に欠かせない防振ゴム部品のひとつでそのシェアは国内市場の約60%を占め、世界的にも有数な生産量を誇ります。その他にも産業用・情報機器用の各種防振ゴムを手掛け、各メーカーに納入しております。



(トーショナルダンパー)



平成22年度大学知財研究推進事業報告書

「地方大学や中小規模大学の特色ある知財活動例に学ぶ 知財活用の在り方に関する研究報告書」

に当部門の活動が取り上げられました。

1. 研究の背景と目的

特許庁は、大学知財研究推進事業の一環として、知的財産活動や啓発における諸問題に関する研究を行い、その成果を公開しています。平成22年度は「地方大学や中小規模大学の特色ある知財活動例に学ぶ知財活用の在り方に関する研究」をテーマに、特許庁から依頼された研究機関〔株三菱総合研究所〕によってまとめられた報告書が特許庁ホームページに掲載されています※。

※この報告書は、特許庁ホームページトップから「大学知財研究推進事業」のキーワードでホームページ内検索をすれば、閲覧できます。

このような研究報告を実施する目的は、

- (1) 地方・中小規模大学における知的財産活動の実態を把握すること、
- (2) 個々の大学の特色を活かした取り組みの中で、優れた事例について収集・分析して、地方・中規模大学に適した知的財産活動のあり方を検討するための基礎資料とすること、
- (3) 上記(1)(2)の結果を広く大学機関等に周知を図ることにより、大学により適正な制度活用が見込まれるとともに、大学の特色ある知的財産制度の活用により各大学の知的財産活動が飛躍的に改善されることが期待できること、 等が挙げられます。

従って、今回は、都市部（政令指定都市、東京都内）の大規模（在籍学生が2,000人以上）の大学を除く大学の中から、実施許諾等の有無・特許出願件数・共同及び受託研究件数の過去3年間の実績等も勘案して、調査対象大学129大学が決定されました。

本学もその調査対象大学に選ばれました。さらに、特徴ある知的財産活動の事例調査候補抽出対象校にも該当することになり、他の29大学とともにヒアリング調査に協力しました。

2. 本学関連の事例紹介

(1) 学部・学科を横断した分野融合の研究支援の実施

知的創造サイクルの起点となる共同研究等を絶え間なく創出していくためには、その共同研究等に参画する教員の研究に対するインセンティブを高める環境を作り出すことが非常に大切となります。即ち、知的財産創出に繋がる施策の一環として、知的財産管理運用部門では同機構研究推進部門と連携して「異分野融合研究の育成支援事業」を実施しています。この詳細は「地方大学や中小規模大学の特色ある知財活動例に学ぶ知財活用の在り方に関する研究報告書」（以下「報告書」と記載。）の123頁に紹介されています。（4頁左 掲載）。

(2) 学内・学外に向けた特許相談会の実施

直接ヒアリング調査を受けた産学・地域連携推進機構知的財産管理運用部門の活動では、項目「他大学にとって参考になる取り組み」の中で「定例特許相談会」が紹介されました。本学教員の研究成果となる特許出願や特許出願に伴う共同出願や共同研究に結びつくためには、質的に高い発明案件を創出していくことが非常に大切であるとの考えに基づき、本学教職員とのface to faceによる知的財産検討会をできるだけ継続的かつ地道に実施しています。この詳細は、「報告書」の167頁に紹介されています。（4頁右 掲載）

⑥ 学部・学科を横断した分野融合の研究を支援している事例

図 3-4-24 は、鳥取大学における、分野融合の研究を支援している事例である。知的財産創出に繋がる実践的なプロジェクト研究や共同研究に対して、分野融合の研究開発の創出・育成支援を実施している。JST の研究シーズ探索プログラムと応募フォーマットを共通にし、学内と JST の両方に応募できるようにすることで、若手研究者のチャンス拡大に繋げる等の工夫が行われている。

図 3-4-24 参考となる具体事例 (24)

事例	学部・学科を横断した分野融合の研究を支援している事例
組織名	鳥取大学
ポイント	知的財産創出に繋がる実践的なプロジェクト研究や共同研究に対して、分野融合の研究開発の抽出・育成支援を実施

鳥取大学における研究助成の構成図

・JSTの研究シーズ探索プログラムと応募フォーマットを共通にし、学内とJSTの両方に応募できるようにすることで、若手研究者のチャンス拡大に繋げている。

【ヒアリング結果メモ】

- ・大型プロジェクト研究や大型共同研究に繋がる実践的な研究分野において、異分野の融合領域の研究開発を推進する研究グループの創出・育成を支援するため、産学・地域連携推進機構にて 研究開発プロジェクトを公募している。年間4件程度を重点研究事業として採択し、1課題あたり総額4,000千円程度(2年間)を支援している。
- ・上記公募で採択される事業が固定化されないため、また若手研究員への支援を行うために、平成22年度から異分野融合研究を目指す研究についても年間2件程度、1課題あたり1,000千円程度(1年間)を支援している。
- ・特許をはじめとした産業財産権の創出も目的としているため、応募には必ず特許が出願されている必要はない。
- ・研究推進部門の母体の一つであるベンチャービジネスラボラトリー時代から割り当てられている予算を用いて実施している。

出所等	・鳥取大学 産学・地域連携推進機構 「平成 23 年度 異分野融合研究の育成支援事業」公募要項より
-----	---

⑦学内・学外向けに特許相談会を行っている事例

図 3-4-66 は、鳥取大学における、特許相談会の実施事例である。鳥取大学では、客員教授(弁理士)の指導により、知的財産の創出・権利化に対する定例特許相談会を月二回、鳥取地区にて開催している。研究者の知財に対する意欲は除却は向上し、特許相談や契約相談が増加するといった効果が実際に生まれている。

図 3-4-66 参考となる具体事例 (66)

事例	学内・学外向けに特許相談会を行っている事例
組織名	鳥取大学
ポイント	客員教授(弁理士)の指導により、知的財産の創出・権利化に対する定例特許相談会を月に二回鳥取地区にて開催している。

特許・契約相談回数の推移

年度	特許相談回数	契約相談回数	合計
H16年度	54	16	70
H17年度	76	42	118
H18年度	124	35	159
H19年度	149	63	212
H20年度	146	116	265
H21年度	188	103	292

【ヒアリング結果メモ】

- ・偶数月は内一回を医学部がある米子地区にて実施している。
- ・不定期の特許相談については、専任教員と知財専門AD2者、あるいは専任教員と知財専門ADと弁理士の3者により随意対応している。
- ・研究者の知財に対する意識が向上し、特許相談や契約相談が増加傾向にある。特に契約相談はこの2、3年急激に増加傾向にある。この理由として、蓄積した特許をはじめとする知的財産の活用を積極的に図る施策を1連会するとともに、研究者から各種契約に絡む相談およびその相手先である企業等との交渉件数が急増したためと考えられる。

出所等	・鳥取大学 産学・地域連携推進機構発行 知財部門ニュース 38号より
-----	------------------------------------



*** 刊行物 ***
 知財部門ニュース 5月号
 <50号> (通番79号、
 2011年5月1日発行)
 編集・著作：
 知的財産管理運用部門
 発行：鳥取大学
 産学・地域連携推進機構

*** 今月の表紙絵 ***

アネモネは知財部門の花です。赤いアネモネの花言葉は「あなたを愛す」、紫のアネモネは「あなたを信じて待つ」。あなたは知財部門のお客様・知的な人。
 (中村宗和名誉教授より)

*** 編集後記 ***

新年度も一カ月経ちました。東日本大震災をはじめとする相次ぐ天災や人災で「気」はなかなか落ち着きませんが、心の片隅でいつも被災者のことを思いながら、自分にできることを継続しましょう。
 部門ニュースは平常心で、今年度も元気な活動ニュースをお届けする予定です。

*** 特許相談 ***

相談員：佐々木茂雄(部門長・教授) TEL: 0857-31-6000(直通)(又は内線 2765)
 山岸 大輔(副部門長・助教) TEL: 0857-31-6094(直通)(又は内線 4072)
 場所：産学・地域連携推進機構 2F 知的財産管理運用部門
 知的財産管理運用部門 E-mail アドレス：chizai@adm.tottori-u.ac.jp
 FAX 専用：0857-31-5474 (又は内線 2771)
 産学・地域連携推進機構 HP：http://www.cjrd.tottori-u.ac.jp/